

「保健衛生調査様式」

昭和四年四月

保健衛生調査會第十三回報告書

✓ 保健衛生調査様式(二頁)
衛生調査本(二〇頁)

国立公衆衛生院附属図書館



00018287

保健衛生調査會



P-A
13
17

例言

本篇ハ昭和三年四月ヨリ昭和四年三月ニ至ル本會議事ノ概要ニツキ輯録シタルモノナリ

昭和四年四月

保健衛生調査會

国立公衆衛生院附属図書館	
受入先	松浦十四郎先生寄贈
受入日	98. 3. 10
登録番号	72662
所在	
Library, National Institute of Public Health	

保健衛生調査會第十三回報告書

目次

第一章 職員	一
第二章 特別委員	四
第三章 議事	九
第一節 會議ノ回数	九
第二節 議案ノ件數	九
第三節 特別委員會議事大要	一〇
一、東京市ニ於ケル乳兒調査ニ關スル特別委員會	一〇
二、衛生思想普及ニ關スル特別委員會	一八
三、都市衛生狀態改善ニ關スル特別委員會	三

保健衛生調査會第十二回報告書

第一章 職員

(昭和四年三月三十一日現在)

會	幹	委	一	二	三	四	五	六	七
長	事	員	番	番	番	番	番	番	番
望	伊	大	磐	永	高	瀨	三	林	柳
月	藤	達	瀨	井	野	川	宅	春	澤
圭	武	茂	雄	三	岩	昌	鑛	保	惠
介	彦	雄	一	潜	郎	世	一	雄	一

八番
十番
十一番
十二番
十三番
十四番
十六番
十七番
十八番
十九番
二十番
二十一番
二十二番
二十四番
二十五番

秋田清
富士川游
宮川米次
佐上信一
光田健輔
湯澤三千男
石津利作
内野仙一
岡村龍彦
北島多一
栗本庸勝
大野綠一郎
佐伯矩
加藤久米四郎
唐澤光德

二十六番
二十八番
二十九番
三十番
三十一番
三十二番
三十三番
三十五番
三十七番
三十八番
三十九番
四十番

矢作榮藏
西崎弘太郎
三宅秀
宮入慶之助
潮惠之輔
山田準次郎
横手千代之助
北豐吉
栗津清亮
宮島幹之助
龜田豐治朗
古瀬安俊

備考

鈴木喜三郎ハ昭和三年五月四日依願内務大臣ヲ免セラレ會長ヲ退ク
望月圭介ハ昭和三年五月二十三日内務大臣ニ任セラレ會長トナル

秋田清ハ昭和三年五月二十九日內務政務次官ニ任セラレ同年八月七日委員被仰付

委員武藤金吉ハ昭和三年四月二十三日卒去

杉山四五郎ハ昭和三年五月十六日依願內務次官ヲ免セラレ委員ヲ退ク

潮惠之輔ハ昭和三年五月十六日內務次官ニ任セラレ同年五月二十三日委員被仰付

大野綠一郎ハ昭和三年二月二十八日社會局部長ニ任セラレ同年四月十六日委員被仰付

佐上信一ハ昭和三年五月二十五日內務省地方局長ニ任セラレ同年八月七日委員被仰付

河原田稼吉ハ昭和三年六月二十六日臺灣總督府總務長官ニ任セラレ委員ヲ退ク

湯澤三千男ハ昭和三年六月二十九日勞働部長ニ補サレ同年八月七日委員被仰付

小濱淨鑑ハ昭和三年五月二十五日福井縣知事ニ任セラレ幹事ヲ退ク

第二章 特別委員

(昭和四年三月三十一日現在)

一、東京市ニ於ケル乳兒調査ニ關スル件

特別委員長

委員

三宅秀

瀨川昌世

一、衛生思想普及ニ關スル件

特別委員長

委員

北島多一

佐伯矩

唐澤光德

横手千代之助

北豐吉

龜田豐治朗

三宅秀

磐瀬雄一

永井潜

林春雄

宮川米次

内野仙一

北島多一

一、都市衛生状態改善ニ關スル件

特別委員長

伯爵

委員

佐伯 矩

唐澤 光徳

横手 千代之助

宮島 幹之助

柳澤 保恵

高野 岩三郎

北島 多一郎

栗本 庸勝

矢作 榮藏

西崎 弘太郎

潮惠之輔

横手 千代之助

一、農村ノ飲用水改善ニ關スル件

特別委員長

委員

横手 千代之助

宮川 米次

内野 仙一

佐伯 矩

西崎 弘太郎

古瀬 安俊

伯爵

柳澤 保恵

永井 潜

富士川 游

内野 仙一

岡村 龍彦

北島 多一

栗本 庸勝

一、花柳病豫防ニ關スル件

特別委員長

委員

伯爵

柳澤 保恵

永井 潜

富士川 游

内野 仙一

岡村 龍彦

北島 多一

栗本 庸勝

一、乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル件

特別委員長
委員

柳澤保一

柳澤保一

矢作榮藏
三宅秀
横手千代之助

柳澤保一

高野三郎

瀬川昌世

北島多一

佐伯矩

唐澤光徳

三宅秀

潮惠之輔

横手千代之助

龜田豊治朗
古瀬安俊

第三章 議 事

第一節 會議ノ回数

特別計	特別委員會		昭和三年												昭和四年			計						
	會	會	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月										
	二	二																				二	二	

第二節 議案ノ件數

特別委員會 計	議案種別		決 議 事 項	
	會 別	議案種別	既 濟	未 濟
總 會				
特別委員會				
計				

第三節 特別委員會議事大要

一、東京市ニ於ケル乳兒調査ニ關スル特別委員會

第一回

昭和三年五月三十一日午後一時五十分ヨリ内務省會議室ニテ開會

出席者 三宅委員長

瀨川、北島、佐伯、唐澤、横手、北、龜田、山田各委員

伊藤幹事、氏原内務技師

議事ノ經過

三宅委員長 豫テ配布セル統計表（目次左ノ如シ）ニツキ審議スヘキヲ述ヘ當局ノ説明ヲ求ム、氏原技師幹事ニ代リ本統計表作製ニ關スル經過ヲ説明シ次ニ各表ニツキ審議ヲ進メ大體全部ヲ諒承セルモ更ニ此等ノ諸表ヲ組合ストキハ一層參考トナルヘキ成績ヲ得ヘシトノ龜田委員ノ提案ニ基キ次回ニハ此ノ點ニ關シ龜田委員ト氏原技師ニテ研究セル結果ニツキ審議スルコトトシ午後三時五十分散會

記

乳兒死亡ニ關スル統計表

- 第一表 住所別乳兒死亡
- 第二表 出生ノ順位別乳兒死亡
- 第三表 死亡ノ場所別乳兒死亡
- 第四表 生家（養家）ノ納稅關係及家計ノ主ナル職業別乳兒死亡
- 第五表 生母ノ職業別乳兒死亡
- 第六表 兩親ノ年齢別乳兒死亡
- 第七表 死亡原因別乳兒死亡
- 第八表 養育ノ場所及出生ヨリ死亡ニ至ル期間別乳兒死亡

- 第九表 榮養ノ種類及飲用月數別乳兒死亡
- 第十表 榮養ノ種類養育ノ場所及身分別乳兒死亡
- 第十一表 榮養ノ種類及死亡ノ月別乳兒死亡
- 第十二表 分娩關係別乳兒死亡
- 第十三表 醫療關係、發病ヨリ死亡ノ期間及死因別乳兒死亡
- 第十四表 醫療期間別乳兒死亡
- 第十五表 兩親ノ健康狀態別乳兒死亡
- 第十六表 同胞トノ關係別乳兒死亡
- 第十七表 住居及周圍ノ狀況別乳兒死亡
- 第十八表 生家(養家)ノ疊數及住居人數別乳兒死亡

初生兒及產婦ニ關スル統計表

- 第一表 初生兒各區別
- 第二表 初生兒出生ノ順位別
- 第三表 初生兒出生ノ場所別

- 第四表 初生兒兩親ノ年齡別
- 第五表 初生兒生家ノ納稅關係及家計ノ職業別
- 第六表 初生兒母ノ職業別
- 第七表 初生兒兩親ノ健康狀態別
- 第八表 初生兒榮養種類別
- 第九表 初生兒保育狀況別
- 第十表 初生兒生家及周圍ノ狀況別
- 第十一表 初生兒生家ノ疊數及住居人數
- 第十二表 妊娠中疾病有無別
- 第十三表 妊娠中傷害其ノ他異常ノ有無別
- 第十四表 分娩前ノ業務(又ハ仕事)從事關係別
- 第十五表 分娩當時ノ狀況別
- 第十六表 初發陣痛ヨリ胎兒娩出迄ノ時間別
- 第十七表 產後ノ就業關係別

第二一回

昭和三年十月二十四日午後二時ヨリ内務省會議室ニテ開會
出席者 三宅委員長

瀬川、北島、唐澤各委員

伊藤幹事、氏原、南崎各内務技師

議事ノ經過

三宅委員長開會ヲ告ケ氏原技師ヨリ前回ノ打合ニ基キ研究セル左記各調査表ニツキ説明ノ後本調査表ニ表ハレタル結果中往々他ノ類似ノ事項ニ關スル調査ノ結果ト符合セルモノアリ旁本調査ノ正確ナルヲ裏書セルモノト謂フヘシト附言スルトゴロアリ

審議ノ結果全部ノ調査表ヲ承認シ且之ヲ印刷ニ附シタシトノ希望決議アリ午後三時散會

記

乳兒死亡ニ關スル調査表

第一、生母ノ職業別乳兒死亡

第二、死亡原因別乳兒死亡

第三、榮養ノ種類及飲用月數別乳兒死亡 (其ノ一本所區)

第四、同 上 (其ノ二赤坂區)

第五、同 上 (其三日本橋區)

第六、同 上 (其四合 計)

第七、榮養ノ種類、養育ノ場所及身分別乳兒死亡 (其一本所區)

第八、同 上 (其二赤坂區)

第九、同 上 (其三日本橋區)

第十、同 上 (其四合 計)

第十一、榮養ノ種類及死亡ノ月別乳兒死亡 (其一本所區)

第十二、同 上 (其二赤坂區)

第十三、同 上 (其三日本橋區)

第十四、同 上 (其四合 計)

第十五、分娩關係別乳兒死亡

第十六、醫療關係、發病ヨリ死亡ノ期間及死因別乳兒死亡 (其一本所區)

第十七、同 上

(其三赤坂區)

第十八、同 上

(其三日本橋區)

第十九、同 上

(其四合 計)

第二十、醫療期間別乳兒死亡(其一本所區)

第二十一、同 上 (其二赤坂區)

第二十二、同 上 (其三日本橋區)

第二十三、同 上 (其四合 計)

乳兒死亡率、乳兒死亡、出生及産婦ニ關スル調査表

第一、出生ノ順位ト乳兒死亡率(大正九年)

第二、同 上 (大正十四年)

第三、父ノ年齢ト乳兒死亡率

第四、母ノ年齢ト乳兒死亡率

第五、生家ノ納税關係ト乳兒死亡率

第六、住居ノ衛生狀況ト乳兒死亡率

第七、住居ノ周圍ノ衛生狀況ト乳兒死亡率

第八、住居ノ疊數ト乳兒死亡率

第九、乳兒死亡ノ日齡月齡別(其一各區別)

第十、同 上 (其二東京市、人口十萬以上ノ市、全國)

第十一、乳兒死亡アリタル家ノ一人當リ疊數調

第十二、出生アリタル家ノ一人當リ疊數調

第十三、各區居住者一人平均ノ疊數調

第十四、本所、赤坂、日本橋各區ノ嫡出子出生數

第十五、分娩前ノ業務(又ハ仕事)從事關係(其一本所區)

第十六、同 上 (其二赤坂區)

第十七、同 上 (其三日本橋區)

第十八、同 上 (其四合 計)

第十九、初發陣痛ヨリ胎兒娩出迄ノ時間(其一本所區)

第二十、同 上 (其二赤坂區)

第二十一、同 上 (其三日本橋區)

第三十二、同 上 (其四合 計)

第三十三、分娩當時ノ狀況別 (其一本所區)

第三十四、同 上 (其二赤坂區)

第三十五、同 上 (其三日本橋區)

第三十六、同 上 (其四合 計)

一、衛生思想普及ニ關スル特別委員會

昭和三年四月四日午後一時五十分ヨリ内務省會議室ニテ開會

出席者 三宅委員長

林、宮川、北島、佐伯、横手、宮島各委員

伊藤幹事、氏原内務技師

議事ノ經過

一、別紙議案ニ基キ衛生讀本及小冊子ノ編纂ニ關シ審議ノ結果左ノ通り決定ス

一、衛生讀本ニ關スル件

第一編 生命と自然界 永井委員ノ擔任ナルカ本月中ニ執筆ヲ了スルコトヲ承諾ノ旨氏原技師ヨ

リ報告

第二編 榮養と嗜好 佐伯委員ノ擔任ナルカ近日中ニ執筆ノコト

第六編 保健の障害 宮島委員ノ擔任ナルカ佐伯委員ト同シ近日中ニ執筆ノコト

一、小冊子ニ關スル件

寄生蟲の驅除 宮川委員近日中ニ執筆ノコト

皮膚の鍛鍊又は冷水浴の話 林委員近日中ニ執筆ノコト

調理と食べ方 佐伯委員ノ擔任ナルカ近日某所ニテ講演スヘキ資料ヲ以テ原稿ニ充用スルコト

右各委員ノ承諾ヲ得タリ其ノ他ニ就テモ執筆方ノ促進ヲ依頼スルコト

二、委員長ヨリ本年度ニ於テ實施シタキ衛生思想普及ニ關スル新規方法ニツキ意見ヲ徵セルニ結局適當ノ時期ヲ選ヒ展覽會ノ開催ヲシタシトイフコトニ意見一致ス、其ノ展覽會ノ題目ニツキテハ各委員ヨリ左ノ如キ意見出ツ

イ、衣食住展覽會

ロ、スポーツと榮養、スポーツと衛生

ハ、夏と衛生

ニ、青年期の衛生展覽會

尙宮島委員ヨリ時々衛生ニ關スル通俗講演會ヲ開催シ其ノ速記ヲ小冊子ニ充ツレハ一舉兩得ナルヘシ
トノ提案アリ午後三時散會

(別紙議案)

一、衛生讀本ニ關スル件

題 目	執 筆 者
第一編 生命と自然界	永井委員 (未稿)
第二編 榮養と嗜好	佐伯委員 (同)
第三編 住居と被服	横手委員 (大正十四年十月十五日刊行)
第四編 活動と休養	永井委員 (未稿)
第五編 保健と鍛鍊	永井委員 (同)
第六編 保健の障害	宮島委員 (同)
第七編 民族の將來	三宅委員 (同)

一、小冊子ニ關スル件

題 目	執 筆 者
寄生蟲の驅除	宮川委員 (未稿)
調理と食べ方	佐伯委員 (同)
早老の豫防	下田博士 (昭和三年三月十五日刊行)
食物と健康	大森博士 (未稿)
睡眠と休養	杉田博士 (同)
皮膚の鍛鍊又は冷水浴の話	林委 員 (同)
癌 の 話	長與博士 (同)
婦人の衛生	磐瀬委員 (同)
小兒の傳染病	唐澤委員 (同)
育 兒 の 話	瀬川委員 (同)
飲み水の良し悪し	横手委員 (同)
乳 と 肉	津野博士 (同)

食べられる非と(毒な非と食べら
食べられぬ非(れる非と改題)

川村博士

(昭和二年十
月五日刊行)

温泉の話

藤浪博士

(脱稿
目下印刷中)

優生學の話

永井委員

(未稿)

日光浴の話

正木博士

(同)

(備考) 温泉ノ話ハ温泉療法ト改題シテ昭和三年六月一日刊行、日光浴ノ話ハ單ニ日光浴トシテ昭和三年十二月二十日刊行

三、都市衛生状態改善ニ關スル特別委員會(第十一回目)

昭和三年四月十九日午後一時三十分ヨリ内務省會議室ニテ開會

出席者 伯爵 柳澤委員長

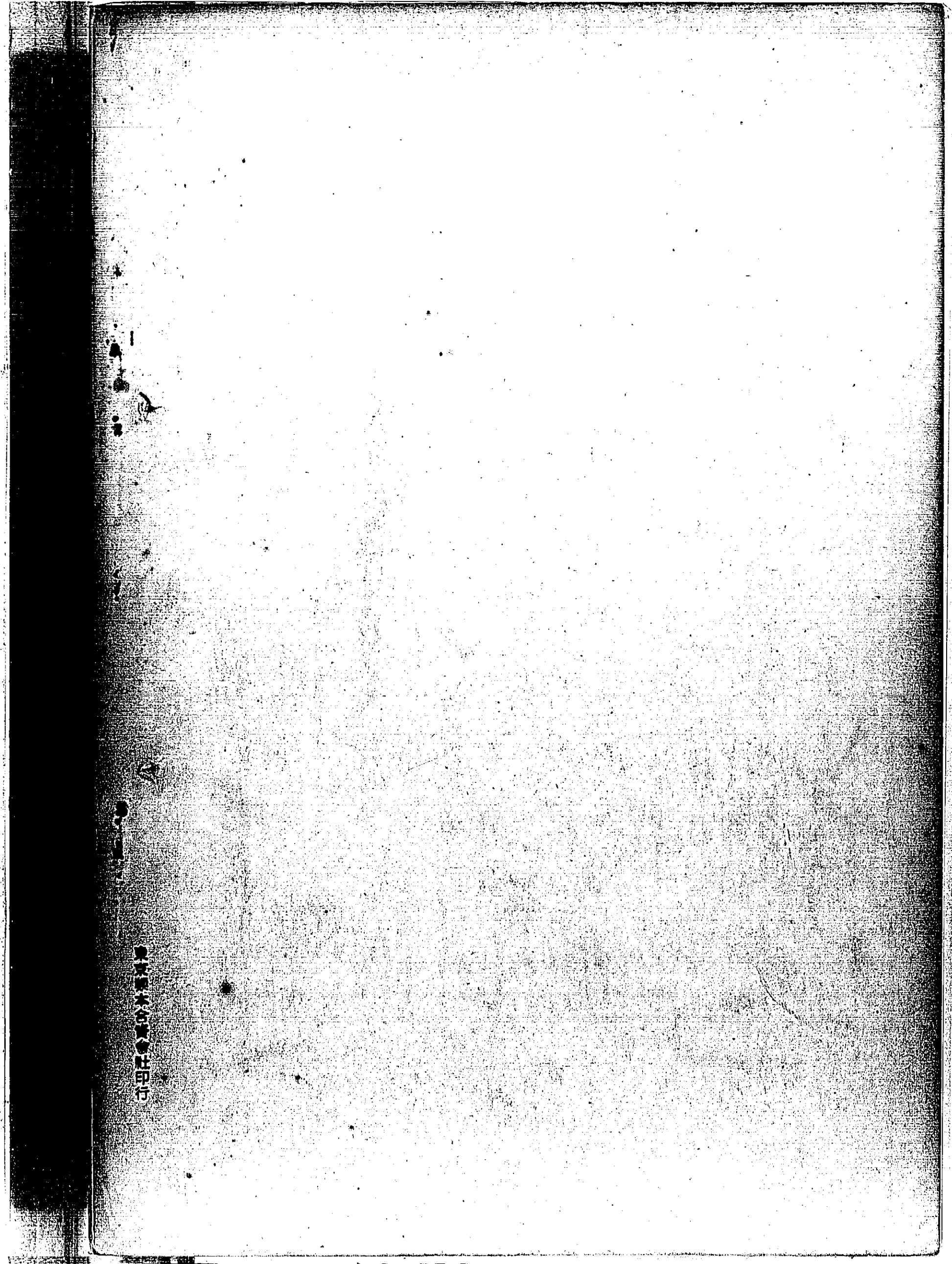
北島、栗本、西崎、山田各委員

伊藤幹事、氏原内務技師

議事ノ經過

都市計劃課技師内山新之助氏ヨリ六大都市ヲ始メ都市計劃法適用ノ諸都市ニ於ケル都市計劃法ノ施行狀況ニツキ大體ノ説明ノ後大阪市ニ於ケル都市計劃ト上下水道並ニ汚物處分施設等ニツキテハ特ニ

詳細ナル説明アリ次ニ復興局計劃課長岡田周造氏ヨリ東京市ノ復興事業ト衛生施設ニツキ詳細ナル講
話アリ午後三時五十分散會



東京大学出版会